

別紙2

事業所名 グループホームまつの実

作成日： 令和5年 7月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	●運営推進会議に係る委員構成の見直し 本会議の委員構成について、コロナ禍の施設立ち入り制限等もあり、市町村または地域包括支援センター職員、地域住民等、外部委員の出席を積極的に求めることができなかった。	●運営推進会議において、客觀性・公平性のある意見交換等がなされ、適切かつ良質なホーム運営につなげるために、委員構成の適正化を図る。	●地域包括支援センター(もしくは市町村)に運営推進会議の開催予定をもとに出席を依頼する。 ●地域包括支援センターに相談しながら、地区的民生委員に会議への出席を依頼する。 ●各ユニットの利用者家族の代表者を選出し、運営推進会議の趣旨を説明の上、出席を依頼する。	3ヶ月
2	35	●災害対策の再検討 定期的な訓練は実施しているが、夜勤を想定した訓練について、夜勤者1名体制想定での具体的かつ実践的な内容での実施が不十分となっている。また、地域住民の協力体制構築ができていない。	●夜勤想定の訓練について、具体的かつ実践的な訓練計画となるよう再検討し、計画に基づいた訓練を実施する。 ●災害時の町内からの協力が得られるよう、当事業所の災害対策について地域住民に理解を促す場を設ける。	●夜勤想定の訓練計画について見直しを図り、見直し後の訓練計画に基づいた訓練を実施し、振り返りを行う。 ●運営推進会議などを通じて、等事業所における災害対策の現状について理解していただける場を設け、地域住民への参加・協力を求める上での関係を構築する。	12ヶ月 (年度内)
3	1	●食事を楽しむことのできる支援 現在当事業所における食事提供は、マンパワー不足や利用者の重度化などにより、外部業者から購入するチルド食品を提供している。そのため、利用者が調理に参加できる機会が少ない。	●利用者が食事に関する家事に参加できる機会を設けたり、食べたいものが食べられる機会を設けることで、「食べる楽しみ」を支援する取り組みを強化する。	●当事業所内で構成している給食委員を中心に、年間計画にてリクエスト食や手作りおやつの機会を設け、一緒に作る楽しみや季節折々の食材や献立を取り入れながら食べる楽しみを共有できるような支援をする。	12ヶ月 (年度内)
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。